

(輸血センター)

1. 概 要

輸血センターは、輸血療法が安全かつ適切に実施されるように、院内の輸血療法に関すること全般を管理している。主な業務として検査業務と管理業務があり、検査業務は、輸血に関連する検査である血液型、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験などを実施している。管理業務は、濃厚赤血球液などの血液製剤の保管・管理、自己血採血の予約管理から貯血の管理およびアルブミン製剤の管理があげられる。その他に、輸血療法委員会の事務局を担当し、年6回の委員会を開催している。その内容は赤血球濃厚液（RCC）、新鮮凍結血漿（FFP）、アルブミン製剤（ALB）の使用量推移、輸血副作用集計報告、製剤廃棄率報告および製剤の大量使用例、交差適合試験未実施使用例の定例報告と、院内への周知事項や運用の問題点など、輸血療法が安全で適切に行われるよう協議している。

検査件数

平成 24 年度	総数
血液型	15,455
不規則抗体スクリーニング	9,961
交差適合試験	4,882

製剤使用状況（単位）

平成 24 年度	総数
赤血球濃厚液	9,740
新鮮凍結血漿	3,644
濃厚血小板	19,970

製剤廃棄率

平成 24 年度	製剤種	総数
廃棄率 (%)	赤血球濃厚液	1.12
	新鮮凍結血漿	0.11
	濃厚血小板	0.70

アルブミン製剤（本数）

平成 24 年度	本数
25%アルブミン	1,648
5%アルブミン	1,724

副作用集計報告

平成 24 年度	副作用報告数	実患者数
赤血球濃厚液	65	48
新鮮凍結血漿	36	10
濃厚血小板	279	54